

米販売事業者の販売数量及び販売価格の動向（農水省調査:6月現在）

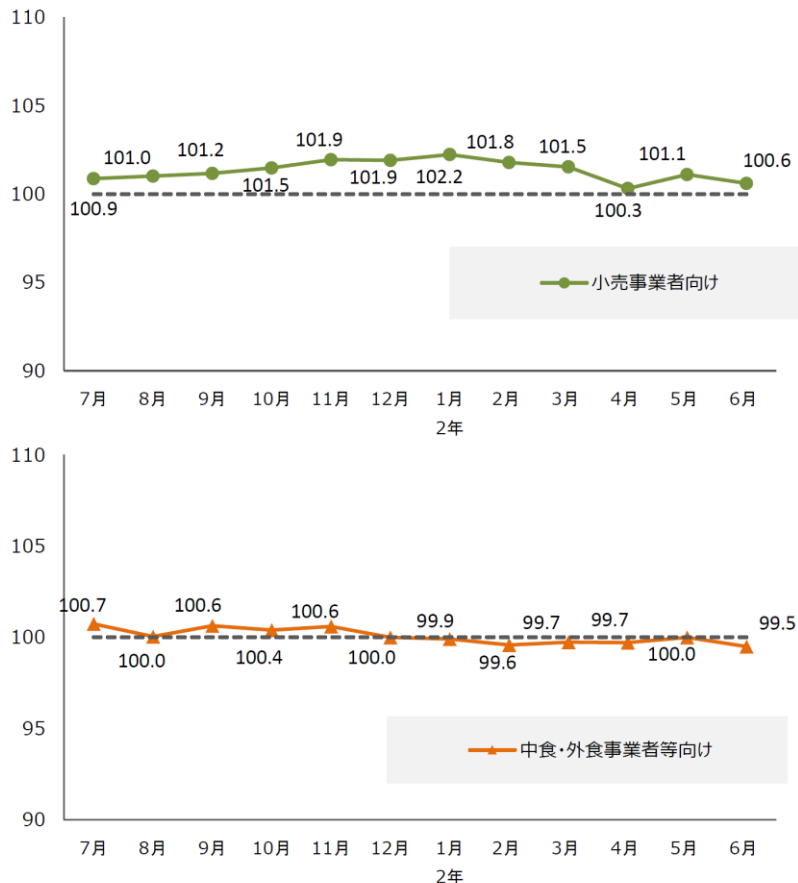
- 令和2年6月の販売数量（前年同月比）は、小売事業者向け104%、中食・外食事業者等向け89%で販売数量は97%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年からの米の需要は停滞している。特に直近の4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年6月の販売価格の値動きは、小売事業者向け100.6、中食・外食事業者等向け99.5。

1 販売数量の動向（前年同月比）

	元年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
小売事業者向け	99%	96%	101%	97%	99%	99%	101%	110%	124%	110%	95%	104%
中食・外食事業者等向け	100%	100%	97%	98%	95%	97%	98%	99%	89%	75%	76%	89%
販売数量計	99%	98%	99%	97%	97%	98%	100%	105%	108%	94%	86%	97%

注：前月公表分までは、報告者からの対前年比の比率の割合により、整理していたが、元年6月公表から、販売数量（実数）と対前年の販売数量（実数）との比率としており、実数比較が可能となった元年6月分から数値を精査の上、遡及して整理。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間玄米仕入数量50,000トン以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。